



SAPPORO
MINAMIKU

ARTIST FILES

2023

南区アーティストコアビル

 ミナミナク・アートプロジェクト

南区アーティストファイルとは？



2022年、南区にゆかりのあるアーティストのみなさんをご紹介します「南区アーティストファイル2022(冊子版・Web版)」を南区芸術祭の年にあたり初めて作成しました。

編集を進める中で、南区には本当にさまざまな分野のアーティストのみなさんが活動されていることを知り、1号ではとても紹介できないことがわかりました。

本号はその第2弾となります。南区にかかわりのあるアーティストの活動を広く区民の方にお知らせし、新たな交流や活動の機会につなげていただくことを目的とした冊子です。

実は本号でもまだご紹介できていないアーティストの方は多数いらっしゃいます。これからも引き続き多くのアーティストのみなさんをご紹介します、応援し、つながりを広め、南区が芸術・文化の香り高い地域となるための一助となれば幸いです。

Pickup ARTIST

北海道の自然が魅せる色彩や質感を、 テキスタイルとアートで表現。



自然の色彩や質感からひらめきを得たテキスタイルで人々に感動や楽しさ、癒やしを与えることを目指し、自社ブランドの展開やテキスタイルメーカーのブランディング、コンサルティングを行っています。また、南区にショップ、レストラン、宿泊施設を備えた「COQ（こきゅう）」を開設し、自然の中でリラックスできるライフスタイルを提案しています。

私の幼少期はモノづくりが好きな母から影響を受け、絵を描いたり物語を考えたりすることに熱中していました。高校生の時、テキスタイルデザインという分野を知り、その道を目指すことに。美術大学に進学し、全国から集まる洗練された同級生たちの中で個性を出していくため、北海道の自然や昆虫をテーマに素朴さを残したデザインを追求しました。研究を進める中、光を感じる色や生地のテクスチャーで心を照らすように明るくするイッセイミヤケの思想に惹かれ、卒業後にデザイナーとして就職しました。その後に大学の先生と会社の推薦で、英国の王立芸術大学院（RCA）に留学する機会を得ました。RCAは産学連携に力を入れており、世界中の企業から商品開発の依頼が集まります。その中で関わったプロジェクトの一つに南アメリカのグアテマラでの企画開発があり、市場で受け入れられるものを生産し、ロンドンのインテリア製品の販売会社にプレゼンしました。

デザイナーが工場側に立ちアイデアを形にするこ
とで仕事や雇用が生まれ、地域創生につながる経
験が心に残りました。

帰国後は日本でも地域創生に貢献したいと思
い、北海道を拠点に国内の繊維産地を訪問しまし
た。当時の日本の繊維工場は問屋やファッショ
ンデザイナーの発注で生地を作る受け身の体制で、
工場から企画を発信するものではないという認識
でした。しかしRCAの先生は、今のままの意識で
は人件費が高く少子化問題がある日本の繊維業界
は衰退すると予測。そのため、伝統的な技術を大切
にしながらも工場が自社で企画販売ができるよう
に根気強く提案していきました。

道を開くには困難も伴います。本州の繊維産地
を訪ねても思うようにいかない中、週末に北海道
に帰ると空が広く、ようやく深呼吸ができると思
いました。自分たちのクリエイションを発信する
拠点を作る時、その時の思いからコンセプトは「呼
吸」。南区の自然の中で、心地よい空間、深呼吸で
きる場所、持続的であることを表現しています。

私のテキスタイルは、学生時代から一貫して自
然がベースにありました。心が癒やされる色彩を
基調に、暮らしの心地良さを追求し、幸せを支えら
れる製品を残したいと考えています。皆さんにな
じみのある製品の一つとして、コープさっぽろ様
の「エコマイバッグ」は10年間デザインをご依
頼いただいています。

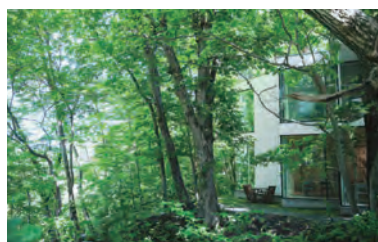
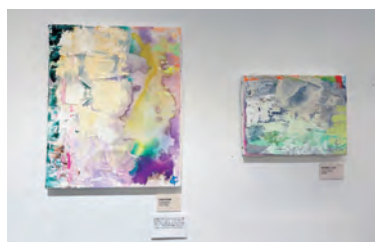
COQに拠点を構えてから、周囲の森や川から
たくさんヒントをもらうようになりました。この

場所を感じたことを絵にする活動も始めていま
す。テーマは希望と光。風景や出来事を抽象画で
表現し、コンセプトを文章として伝えていきます。
今後は、日本の伝統と革新を融合した文化をデザ
インやアートに表現し、海外に積極的に発信した
いと考えています。COQにも海外からお客様が
訪れますし、東京中目黒でもCOQの空気感を表
現した店舗を運営していますが、海外の方に多く
立ち寄っていただいております。日本の感性に興
味を持っています。

都市と自然が融合する南区から、 表現の可能性が生まれる。

札幌に拠点を持つことを考えた時、交通アクセ
スが良く、自然とアートの融合を体現する札幌芸
術の森がある南区が候補に。中でも、国道に面し
ていながら原生林が広がり、真駒内川が流れるこ
の場所が、私の表現したいデザインと重なりまし
た。地域とのつながりとして、芸術の森小学校の
児童から野菜のデザートのアイデアを募集し、選
ばれた方とご家族をレストランに招待していま
す。地域の児童や学生たちが、クリエイションを
身近に感じることで将来の夢に会うきっかけ
になればうれしいです。

周辺で活動するアーティストも多く、COQの
設計を依頼した鈴木理さん（7ページ参照）も近
くにアトリエを構えています。ミラノ市内の企業
やデザイナーが展示を行う「ミラノサローネ」の
ように、南区でもアーティストが拠点を開放する
南区アートフェスのような催しも実現できると
面白いと思います。（談）



梶原 加奈子

テキスタイル・絵画

Kanako Kajihara

- 1973年 札幌市生まれ
- 1998年 多摩美術大学デザイン学部染織科卒業
- 1998年 (株)イッセイミヤケ テキスタイル企画入社
- 2002年 渡英
- 2003年 英国の王立芸術大学院(RCA) ファッション&テキスタイルデザイン修士課程入学
- 2005年 英国の王立芸術大学院(RCA) ファッション&テキスタイルデザイン修士課程卒業。英国のデザインコンペTEXPRINT2005で新境地開拓部門のグランプリ受賞。フリーランスとして活動をスタートし欧州企業にデザインを提供する
- 2006年 帰国しKAJIHARA DESIGN STUDIOを創業
- 2007年 テキスタイルブランドKANA COLLECTIONを立ち上げ、欧米のハイメゾンに向けて販売開始
- 2013年 パリのテキスタイルコンペ PREMIERE VISION PV Awards The Grand Jury Prize 受賞。コープさっぽろ マイバッグのデザインをスタートする

札幌常盤の森の中にショップ・ダイニング・ゲストハウスの複合施設「COQ」を立ち上げ、自然と共に過ごすエシカルライフスタイルからカラーヒーリング&サーキュラーライフを発信。

- 2015年 (株)KAJIHARA DESIGN STUDIO 設立
- 2017年 南区常盤の森にCOQ複合施設を立ち上げる。JAPAN TEXTILE CONTEST審査員長就任
- 2018年 京都とフランスの交流アーティスト・イン・レジデンス Villa Kujiyouyamaに参加する
- 2020年 第42回織研賞を受賞
- 2021年 日本のファクトリーブランドのデジタル販売支援事業としてCRAHUGを立ち上げる
- 2022年 COQ KANAKO KAJIHARA アパレルラインを立ち上げる
- 2023年 COQ東京中目黒店を立ち上げる。自身の思想を反映したART活動を開始する

COQ(こきゅう)
札幌市南区常盤5条1丁目1-23
TEL 011-252-9095
E-mail contact@kajihara-design.com
<http://www.kajihara-design.com>



さっぽろ天神山アートスタジオ合宿プログラム2023 ポスター原画



た記憶はありません。そのときに作りたいものを作る、やれそうなことをやる、ということが続けた結果、今ここにいます、という感じでしょうか。

表現が、映像、絵画と定まっていなくても、その時々々の衝動を形にする表現方法で続けてきたからだと思います。ただ、扱う素材の幅が広いことは、札幌市立高等専門学校の工芸デザイン科で学んだことが大きいと感じます。木工、彫金、陶芸などの課題があったので、さまざまな素材に触れることができました。例えば映像制作で、オブジェを作って撮影し、背景とデジタル合成する手法を用いることがあります。デジタル処理するものでもアナログな感覚があるとバランスがとれます。最近まで意識はしていませんでしたが、素材や手法を混在させて、それを統合することが好きなの

Pickup ARTIST

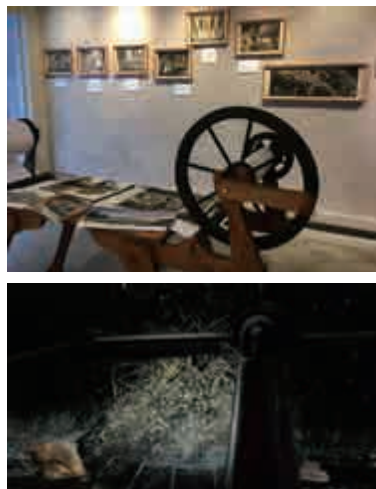
作品は自分よりも自分を アートのセラピー的側面も学びたい。

小さい時から、ものをつくることは好きでした。母が絵を描いていたので画材は身近にあったし、振り返れば整った環境で育ったと思います。ただ、自ら「アーティストになりたい」と強く思った

以前から心理学や宗教には興味があったのですが、最近ではアートのセラピー的側面に強く関心を持っています。この秋から「ほっかいどう未来チャレンジ基金」の助成を受けてメキシコで研究員として約10カ月研修をすることになりました。メキシコには、優れた芸術とともに独特の精神文化があり、それらをリサーチしながら映像制作を行いたい考えです。

自然がアイデアをくれる南区で、 継続的に制作・発表できる場を。

南区は私の生まれ故郷でもあるので、この限界も幼いころからなじみのある場所です。離れていた時期もありましたが、やはり、すぐそばに自然があるこの雰囲気は自分に合っていると思います。私の作業部屋の窓から見える山の斜面の景色は特に気に入っています。近所を歩いているときに、素材集めができたり創作のアイデアが湧いてきたりすることもあります。南区芸術祭2022も開催されたので、これから盛り上がりつついいですね。私がコーディネーターとして携わってきた「さっぽろ天神山アートスタジオ」は南区に関連した活動も行っているので、継続的な制作・発表の場づくりに関わっていくことができ



小林 大賀

映像・絵画・絵本

Taiga Kobayashi

1986年札幌市生まれ。

札幌市立高等専門学校工芸デザイン科を卒業後、自身のパフォーマンスグループを率い、札幌、東京を拠点に公演を行う。2012年、奨学金を得てアメリカ、スペインに滞在。自転車でアメリカ西海岸を縦断しながらグラフィック作品を制作する。

近年は主に絵本、絵画作品を制作するほか、詩人・三角みづ紀(22ページ参照)との映像制作や、地域のダンスコレクティブのクリエイションに携わるなど、活動は多岐にわたる。アーティスト・イン・レジデンス「さっぽろ天神山アートスタジオ」でコーディネーターを務めつつ、アーティストのドキュメント映像や広報物デザインを多数制作してきた。

2023年秋より「ほっかいどう未来チャレンジ基金」の助成のもと、El Colegio de Méxicoの客員研究員として、約10ヶ月の研修をメキシコにて行う。

〈主な活動〉

近年の上映歴、参加作品、個展等

- ・Festival of Nations 2020(オーストリア)にて短編映像作品「風の回廊」(監督、脚本、主演、美術、編集)を公式上映
- ・主演を務めたJun Chong監督の短編映像作品「Autumn」がAustria Independent Film Festival 公式上映
- ・EU-JapanFest日本委員会主催の配信プログラムKeepgoing TOGETHERにて三角みづ紀との共同制作映像シリーズ「yukue」「雷鳴」「今日の天使」「モビール」「骨」「影の湖」を公開
- ・さっぽろだんすこれくていう「声」「My Foolish Heart」「CATAPULT」
- ・2022年 グループ展「南にモンパルナス」
- ・2023年 絵本「謝肉祭」を上梓し、Toov cafe/galleryにて原画展を開催

E-mail taiga.kob@gmail.com
https://www.taigakobayashi.com



かもしれません。もつと言え、バラバラになっている人生の統合も創作は助けてくれる。そういうところが面白いと思います。

学生時代は、仲間といういろいろなことをするのに熱中していました。バンドを組んだり、教授の写真作品の制作を手伝ったり、そうした活動の延長で卒業制作は演劇作品を制作しました。授業や課題の他に、そういう表現に関わったことが現在に直接影響していると思います。

私は、伝えたい思いや届けたい人が起点になって作品を作り始めるというより、「夢をかたちにする」タイプだと思います。自分の中に浮かび上がる夢というアイデアを、身の回りの素材や環境を生かして作品にしています。制作衝動が生まれた時の準備として、素材集めは常日頃行っています。

芸術は、自分の中のマイナスの部分を作品の中でプラスに変換できるところが魅力だと思います。作品に意味を込めることは特に意識していませんが、完成したのを見ると自分が表されていると感じます。私よりも、作品を作る手の方が私をよく知っていて、それを形にして見せてくれる、とさえ思うことがあるくらいです。それを特に強く感じたのが、2023年に制作した絵本「謝肉祭」です。一枚の絵として誕生したイメージを、物語的に、映画的に作品にできないかと構想したのがスタートでした。以前から興味があった絵本という表現方法に決めたのですが、絵を描くことと絵本の原画を描くことは全く違うと思う知らされました。普通絵を描くときは、一枚で見



写真:上/酒井 広司・下/佐々木 育弥

Pickup ARTIST

機能的で実用的、そして本質的。 軽やかで北海道らしいタイムレスな建築を。

「ここ」ときわの家」を拠点としたのは2015年のことで、自宅兼アトリエとしてスタッフも一緒に働いています。ミズナラの大木とイタヤカエデ、サクラ、ホオノキが作業スペースから眺められ、アトリエと自宅の雰囲気を気に入って発注してくださる方もいます。個人住宅以外に携わった建築は、岩見沢の「NORTH FARM STOCK K」や上川の「大雪森のガーデン」。「札幌大通地下ギャラリー500m美術館」の設計、「札幌三井JPビルディング」の外装デザイン監修などがあります。近所にある、テキスタイルデザイナー・梶原加奈子さんのアトリエ兼ショップ、レストラン、ゲストハウス「COQ（こきゅう）」の設計も担当しました。（3ページ参照）

私はもともと車が好きで、カーデザインやエンジニアリングに興味を持っていました。大学在学中に、機能性とともに文化的なデザインを追求することができると感じる建築設計に魅力を感じ、この道を選びました。父が建設会社で一級建築士として働いていたので、幼少期から建築の図面などが身近にある環境でした。母は洋服を作る人で、知り合いに頼まれると採寸して仕立てていました。いわゆるテラーメイドですね。私は職業を父から、仕事の進め方を母から受け継いだように思います。設計をするときには機能的で実用的であるこ

と、そして本質的で時代に流されないことを大切に考えており、時間が経っても良いと思えるものをつくりたいです。建物を新しく建てる時には、いかに周りの環境に調和するかということを重視しています。景色が良い場所に建てるなら、その場所の良さを損なわないように配慮して設計したい。ロケーションがあまり良くないなら、そこに建物が建つことで全体の雰囲気を良くしてくれるように建てたい。その場所の良さをどのようなエッセンスとして取り入れるのが重要ですか。そして完成したその時だけではなく、数十年経っても良いなと思えるような建物であってほしい。設計するときにはその場所をよく観察して、時間が経っても変わらない良さを味方につけてデザインしていきます。

自分が良いと思う設計を追求すると同時に、北海道らしさも大切にしたいと考えています。北海道では気候の問題から、繊細で華奢な雰囲気の建築設計は向きません。例えば、防寒や耐久性のために壁に厚みを持たせることが多く、細く薄くすることが難しいわけです。私はある程度こつくなっても、野暮ったくはならないデザインを意識しています。包み込まれるような安心感があることは北海道建築の特長のひとつだと思いますが、毎日を快適に過ごすという条件は満たしながらも、見た目に重々しくはならず、ある種の軽やかさが感じられる空間を目指しています。

前の世代の先輩たちがトライ＆エラーを繰り返しながら、雪や寒さと暮らすうえでの耐久性や暖かさを備えた建築を模索してくれました。そうして基本的な快適さが担保された環境で、私たち

の世代はより表現に注力できていると考えています。制約がある中でどのような表現ができるか、次の世代に向けてアップデートしたいです。エネルギーのロスをできる限り少なくすることも課題ですね。自分が良いと思う感覚をブラッシュアップしながら、今後も北海道らしさが感じられるような建築設計を続けていきたいです。

自然が磨いてくれるセンサー。 豊かな気づきをくれる場所。

「ときわの家」ができてから毎年、札幌市立大学デザイン学部の山田良先生が学生20名ほどを引率し、授業の一環として見学に来てくれています。建築は実際に見ていただくのが良いので、若い世代に何か感じてもらえるものがあればうれしいです。今後もこのような機会を積極的に設けていきたいと考えています。

南区は自然が身近でありながら、中心部へのアクセスも良いので都市生活のメリットも享受できる場所です。私がここに移ってきたばかりのころ、窓から見える景色は「ただの森」でした。ところがずっと傍で過ごしていると見え方が変わってきます。西陽を遮る木々、新緑の輝きなど、森の豊かな表情がだんだんと見えてきました。風の吹きかたが違う。鳥の音が聞こえる。四季の移ろいだけでなく、日々の森が豊かに見えるんです。まるでセンサーのようなものが磨かれているように、この環境が自身の感受性や気づきを豊かにしてくれていると感じます。とても良い場所です。（談）



写真:1.2.3/酒井 広司

鈴木 理 建築

Makoto Suzuki

1968年 札幌市生まれ
1994年 北海道大学大学院 工学研究科建築工学専攻修了
1994年 株式会社アーキテクトファイブ
2003年 一級建築士事務所 鈴木理アトリエ 開設
2007年 株式会社鈴木理アトリエ一級建築士事務所に法人化
代表取締役

〈所属〉
・東海大学デザイン文化学科 非常勤講師(建築設計)
(2004～2009.2014～)
・北海道科学大学建築学科 非常勤講師(建築設計)(2006～2015)
・日本建築家協会会員／日本建築学会会員

〈主な受賞歴〉
2010年 第6回帯広市まちづくりデザイン賞「十勝トレッポ工房」
2011年 第24回北海道赤レンガ建築奨励賞「十勝トレッポ工房」
2012年 グッドデザイン賞「500m美術館」
2015年 グッドデザイン賞「札幌三井JPビルディング」
2016年 第1回JIA北海道建築大賞 大賞「ときわの家」
第41回北海道建築奨励賞「ときわの家」
日本建築家協会優秀建築100選「ときわの家」
2022年 第5回北海銅機デザインアワード 優秀賞「PREMIUM SHOP
HUSQVARNA SAPPORO」

株式会社鈴木理アトリエ
札幌市南区常盤5条1丁目1-12
TEL 011-213-1381
E-mail suzuki@suzuki-ma.com
https://www.suzuki-ma.com



出身はアメリカのサンディエゴ。5歳の時に家族と訪れたタイで知り合った日本人家族が札幌の人で、それがきっかけで何度か札幌に遊びに来ました。スノーボードを初めて体験したのも、札幌へ来た中学生の時です。

高校を卒業してから札幌へ。とにかく来たくて来ちゃいました。映像やテレビの世界に興味があったので、札幌のテレビ局に売り込みをして回りました。そうしたら、あるテレビ局の方からラジオで外国人のDJを探していると言われてもらい、オーディションを受けたらなんと合格。FM北海道（AIR-G）で番組を持たせてもらうことに。映像ではなかったけれど音楽も好きだったし、憧れていた世界に近いし、ラッキーでした。番組でかける曲選びなどで音楽へのアンテナも高くなり、クラブでDJをすることも増えました。このころの経験は映像の仕事でも役立っています。



長野オリンピック開催に向け「HTBでスノーボードの番組を始めるから出てみないか」と声を掛けてもらい、映像の世界にも関わるようになりました。最初は司会でしたが、そのころはまだカメラマンで滑れる人がいなくて、滑走シーンの撮影が難しかったんです。それでこれはチャンスだと思い、「僕、滑れるし、撮れます！」と手を挙げ、当時発売されたばかりのソニーVX1000という屋

Pickup ARTIST

北海道から発信してきた写真や映像。 次はライブパフォーマンスに挑戦したい。

山溪やスキー場のカフェの仕事イベントが忙しくて、アーティスト活動ができていなかったのですが、コロナも収まってきたので、そろそろ動きたいと思っています。今、関心があるのはライブパフォーマンス。実はサンディエゴにいたころ、ジャグリングなどのストリートパフォーマンスをしていて、もともと人前で表現するのが好きだったんです。これまで、DJ、音楽、映像、写真というな方法で表現してきましたが、原点に戻ってライブ感のある、face to faceのリアルなパフォーマンスをしたいと考えています。その場ですら感じられないものってあると思うから。自分が今までやってきたことを詰め込んだマルチアートの表現を、ライブでやってみたいですね。

定山溪にアーティストの レジデンスができれば面白い。

定山溪に引っ越してきたのは2005年ころ。結婚して、山の近くで自然のあるところがいいねと住まい探しをしていたときに、妻がこの場所を見つけました。札幌国際スキー場も近いし、温泉もあるし、自然に囲まれているし、最高だねと即決。定山溪は水がとにかくきれいで、夏は川でカヌーやSUP、釣りなどを楽しんでいます。住んでみて思ったのは、南区はアーティストにとって、とても良い環境だということ。とにかく広いから、敷地をたっぷり使える物件が多いし、自然に囲まれていて静かだし、創作活動をするにはぴったり。定山溪にアーティストスタジオ付きのアーティストレジデンスとかできたら、人気が出て面白いんじゃないかなと思います。（談）



Neil Hartmann 写真・ビデオ撮影

ニール ハートマン

1972年カリフォルニア州サンディエゴ生まれ。現在は妻と3人の娘、5人で定山溪に在住。ニールに先駆けてアメリカから北海道へ移住した父親を訪ねて91年から北海道で暮らし始める。

北海道のラジオ局、AIR-G' FM北海道のラジオ司会者としての活動を開始。北海道テレビのスノーボード番組「No Matter Board」のオリジナル司会。98年長野オリンピックハーフパイプMCや日産エクストレイルジャンプのレギュラーMCなど。

90年代後半からスノーボード映像の撮影を独学で開始、自主製作のスノームービー「CAR DANCHI（車団地）」北海道在住のスノーボーダーのドキュメンタリー作品シリーズ。「CAR DANCHI」は、およそ1、2年に1タイトルのペースで発売を重ね、現在までに10作をリリース。ルスツリゾートやダイハツのCMなど映像作家として活動中。

写真家としての活動は、カタログや広告の撮影、「THE NORTH FACE」「XEBIO」、「OUTSTANDING」、「Diggin Magazine」、「UOMO」ほか数々の雑誌に作品を寄稿している。

〈主な活動〉
Snowboard / Ski / Snowmobile / MTB / Canoe / Camping / Trekking / Outdoor Photography /

〈掲載雑誌〉
Trans-World Snowboarding, Snowing, Freerun Magazine, Brutus, Popeye, Asayan, Outstanding, Hunt Magazine, Diggin Magazine, Pleasure Magazine, Uomo

One Films
札幌市南区定山溪温泉西1-50
TEL 011-212-1536
E-mail neilhartmann@gmail.com

外の撮影に適した小型のビデオカメラを使って撮影しました。番組のBGMも任せてもらううちに、「自分の作品を作ってみよう」という想いが芽生え始めます。そして1999年に、「INTERNET RODUCTION」という映像作品を作りました。ストーリーはないのですが、カッコいい滑りや、スノーボーダーのライフスタイルを盛り込みました。翌年にもう1本作品を制作。当時はまだVHSの時代でしたね。

その後、3年ほどスチール写真の仕事に没頭してカタログの撮影などを手掛け、DVDが普及し始めたため再び映像作品を作ることにしました。そのころのスノーボードはパークで滑るストリート系が流行っていて、DVDもテクニカルなHOWTOものばかり。でも、私の周りのスノーボーダーたちはすでにバックカントリーを楽しんでいて、ちょっと違っていました。ワンボックススカーにギアを積んで、そこで寝泊まりしながら、滑るために旅をするような生活をしていて。そういうライフスタイルや滑りを撮って作品にしたいと思ったんです。それで、2004年に「CARDANCHI（車団地）」の1作目を発表しました。

これがおかげさまで話題になり、14年間で10シリーズ発表しました。CARDANCHIというタイトルは、車中泊しながら旅をしていた時、駐車場に並んだ車を見て「車の団地みたいだ」と思ったことから付けました。今はCARDANCHIシリーズは少しお休み。映像は撮りためているので、またいつか作りたいと思っています。

経営しているソフトクリームの店・ロケール定



※6



※1



※3

Pickup ARTIST

場所や人を知ることから始める、 地域ごとのアートプロジェクト。

例えばプロジェクトを考え始める時に、まず現場をリサーチしたり、文献を読んだりします。私の場合は、そうしてインプットされたイメージや概念がまとまらず、頭の中で散らばったままであることが多いです。それらを整理してまとめるのはとても苦手なのですが、散らばっている中から異なるイメージをブリコラージュ的に結び付けて、新しく何かを考え出すのは得意。それがアートプロジェクトの企画に結びついていると思います。アートプロジェクトの仕事は依頼をいただいて始めることが多いですが、事前に要望が具体的に決まっていることはほとんどなく、まずはその場所の情報をめたり調べたりして学び、インプットした情報の中からイメージをつなぎ合わせ、企画を立てていきます。

私は山梨で生まれ育ち、大学から静岡へ。教育学部で美術教育を専攻し、2年生の後半から自分の作品の制作を始めました。一つ制作し終わると数カ月くらいは学外で展示をすることもほぼなく、わりと内にもっているタイプでした。大学を卒業した2006年、友達が出る展覧会で、肉塊のような着ぐるみに入ってパフォーマンスを行う作品^{※1}に無理やり参加させてもらって(笑)。それをアットプロジェクト^{※2}の公募展に出したことがきっかけで、いろいろな芸術活動をしている人たちに出会い、美

術に対する見方が大きく変わり、社会というか外を見るようになっていきました。

取手アートプロジェクトは、1999年から取手市と市民、東京藝術大学の三者で始まったもの。当初は2年に1度、野外公募展を行っていましたが、その形式を2008年でやめ、地域密着型のアート活動にシフトチェンジしました。私は高齢者の住民が多い団地の中に作られたコミュニティカフェで、2011年に《とくいの銀行》というプロジェクトを企画しました。住民の「とくい」なことを銀行が預かり、その「とくい」を引き出してイベントを行うもので、今も運営が続いています。^{※2}2013年には山口で、翌年には札幌国際芸術祭で《とくいの銀行》のプロジェクトを実施。^{※3}それがきっかけで妻と出会い、札幌に住まいを移しました。

それより少し話がさかのぼりますが、私は2013年度まで静岡県浜松市の高校で非常勤の美術講師として勤務していました。講師をしながら各地のアートプロジェクトに参加し、浜松では知的障がいのある人がアートを通して社会の中で共生し、豊かに生きていくための活動をしているNPO法人クリエイティブサポートレッツにスタッフとして関わっていました。レッツは障がいのある人がいるアートセンターを街の中につくるための活動をしていました。私は、理事長の息子で重度の知的障がいを抱える「たけし」のためだけに、彼のやりたいことをやりきる公共文化施設をつくれればいいと思います、鈴木一郎太さんという当時のスタッフと共に「たけし文化センター」という施設を2008年に提案しました。誰のためでもない漠然とした場ではなく、誰か一人のニーズに応えつつ、

それを開いていくことをが、本当の公共につながると思ったからです。今、「たけし文化センター」は、中心市街地で福祉施設として運営しながら、いろいろな文化事業も行っていて、私もときどき参加させてもらっています。

とくいの銀行とたけし文化センターの2つが、私が公共について考えるようになったきっかけです。内向気味の私が、障がいのある方や一般の方々と関わることで、内向気味のままで公共について考えても良いというか、むしろそれが重要なものかもしれないと考え始めたことが、今の仕事につながっているような気がします。

子どもたちと一緒に 南区の火山灰からガラス作り。

2022年2月に天神山アトスタジオで、子どもたちのためのアートプログラム「千鳥石火山灰ガラスクラブ」を企画しました。コロナで札幌にいる時間が増え、自分が暮らす澄川付近の土地の歴史を調べたところ、4万年前の支笏火山の火山灰地層でできていることを知りました。火山灰にはガラスの原料であるケイ素が含まれていて、サッポロビールの瓶の原材料としても使われています。紅桜公園内の地層から火山灰をみんなで採取し、^{※5}南区のガラス作家・上杉高雅さん(19ページ参照)、地域の地学歴史に詳しい伴野卓磨さん、陶芸家の上ノ大作さんと一緒にガラス生成を行うワークショップを行いました。^{※6}外に窯を作って、上から雪をかぶせて煙突だけを出し、雪山のてっぺんから煙が出ている火山のように見立てて。^{※7}子どもたちも楽しんでくれていましたが、私自身も楽しかったですね。(談)



※5



※2



※7



※4

深澤 孝史 美術

Takafumi Fukasawa

1984年 山梨県生まれ 札幌市在住

〈主な個展〉

2010年 うんこふみふみたかふみ文化センター たけし文化センター arsnova 浜松

〈主なグループ展〉

2006年 取手アートプロジェクト 取手

2007年 深澤孝史、高杉悦生二人展 Gallery sensenci 静岡市／第8回SICF スパイラル 東京

2012年 大地の芸術祭越後妻有アートトリエンナーレ 十日町市・津南町

2013年 山口情報芸術センター10周年記念祭 LIFE BY MEDIA

2014年 めぐるりアート静岡／おべんとう画用紙 静岡文化芸術大学 ギャラリー 浜松／札幌国際芸術祭2014 札幌市／富士の山ビエンナーレ 富士市

2015年 大地の芸術祭越後妻有アートトリエンナーレ 十日町市・津南町

2016年 茨城県北芸術祭2016 常陸太田市

2017年 本郷新記念札幌彫刻美術館 家族の肖像展 札幌市／奥能登国際芸術祭2017 珠洲市

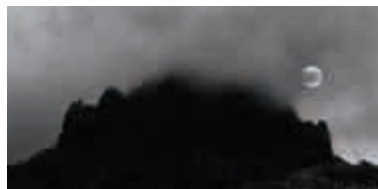
2018年 雪あそび博覧会 越後妻有里山現代美術館[キナール] 十日町市／大地の芸術祭越後妻有アートトリエンナーレ 十日町市・津南町／THAILAND BIENNALE Krabi EDGE OF THE WONDERLAND Thai krabi

2019年 雪あそび博覧会 越後妻有里山現代美術館[キナール] 十日町市／Reborn-Art Festival 2019 石巻市／のせでんアートライン 2019 豊能町

2021年 かけがわ茶エンナーレ2020+1 掛川市／山梨アートプロジェクト2021 山梨県立美術館 甲府市

2022年 北越雪譜ワンダーランド 越後妻有里山現代美術館 MonET 十日町市／大地の芸術祭越後妻有アートトリエンナーレ 十日町市・津南町

<http://fukasawatakafumi.net>



Pickup ARTIST

白と黒のグラデーションが美しく、 見る人の想像力を刺激するモノクロ写真。

子どものころから表現をすることが好きで、表現活動に関わりたい気持ちはずっとありました。高校卒業後、短期間でしたが大阪の写真専門学校に通ってからは、写真が続けたいと思い、他の仕事を始めた後もずっとストーリースナップを撮り続けていました。

何を撮るのか、どんなテーマにするかは決めで、思いついたこと、良いと思った場所を撮影しています。いつもカメラと共にあり、気になると撮るという感じでしょうか。撮影対象の共通点はあるのかもしれませんが、むしろ作品を見てくれた人の方が、私自身が意識していない意図に気づいてくれているのかもしれない。

モノクロという手法を選んでいるのは、白と黒のグラデーションが美しいこと、カラーで表現するより見る人の想像力を刺激すると感じるからです。以前、「アクアライン」という水をテーマにした展覧会に、千歳で撮影した水たまりの写真^{※1}を出品しました。恐らくモノクロという手法の妙もあって、水たまりとは思えない風景の広がりというか、不思議な雰囲気を感じさせる作品になったと思います。これは、以前展覧会のポスターに使っていただけで多くの人の目に触れたことで、私にたくさんの出会いをもたらしてくれた記憶に残る作品の一つです。その展覧会は、支笏湖を撮った作

品だけにスポットライトを当て、標本箱のような額縁に入った写真^{※2}が浮き上がるように展示していただいたことが印象に残っています。写真だけにライトを当てることで、そこに閉じ込められた時間や空間が感じられる展示になったと思います。不思議なことに、写真の中の景色が動いたと感じるなど、今までにない体験もありました。

写真の魅力は、自分の手で描くのではなく、機械を通して写し取るところにあると思っています。機械を通すことで表現できることが広がる、と言ったらいでしょうか。特にカメラがデジタルに変わってからは、それを強く感じるようになりました。大丸札幌店のきのとやカフェに展示していた上川町の銀河の滝^{※3}は、カメラという機械を使うからこそその手法を使って、細部まですべて見えるような作品に仕上げました。これはステッチ技法といって、一つの景色を何十カットにも分割して撮影し、それを後からデジタルでつなぎ合わせる手法で撮影しています。細かい水しぶきや小さな石ころまでが子細に映し出されて、迫力のある写真になったと思います。

最近、その真逆でピンホールカメラを使って、写り込み過ぎない作品を撮影し始めました。ピンホールカメラに興味を持ったのは、20年ほど前に坂東史樹さんの図録撮影をさせてもらったことがきっかけです。作品の魅力に惹かれていつか坂東さんと制作を一緒にできたら、と思っていたのですが、2022年9月に機会を得ることができました。坂東さんに私の夢を模型で再現してもらい、ピンホールカメラで撮影した幻想的な写真^{※4}は、とても気に入っています。このカメラはレンズ

もシャッターもなく、小さな穴を通った光で像をフィルムに焼き付けるので、露出に時間がかかります。そのために早く動いているものは映らないという特徴があります。そのような写りすぎないところなどが面白いし、魅力的だと感じています。

住み続けて35年。住みやすさと ポテンシャルの高さが南区の魅力。

私の出身地は京都ですが、北海道は高校生の時からずっと憧れの土地でした。日本の農村を描いたテレビのドキュメンタリー番組「明るい農村」が好きで、そこに映し出された北海道の牧場の景色に感動して、「いつか北海道に」という気持ちを強く持っていました。

就職して2年目くらい、20歳のときに一念発起して北海道へ。そして、南区に移り住んで35年になりました。本当に住みやすい街でとても気に入っています。地下鉄の駅があって街中までの利便性も悪くないですし、自然が豊かなところも良いですね。真駒内公園も良いですし、真駒内駅裏の桜山は散策もできて好きな場所の一つです。そして広くてポテンシャルを感じます。定山溪の魅力にも、もっと多くの人が気付いてくれたらと思います。

最近、再開発が決まった地下鉄真駒内駅周辺をピンホールカメラで撮影し始めました。激変するであろう駅周辺の街並みを、単なる記録としてではなく、作品として残していけたらと考えているところです。(談)



前澤 良彰 写真

Yoshiaki Maezawa

1960年 京都市生まれ 札幌市在住

〈主な個展〉

1982年 (SYASHIN-SOUCHI Vol.1) ギャラリーユリイカ 札幌
1983年 (SYASHIN-SOUCHI Vol.2) ギャラリータピオ 札幌
1984年 (SYASHIN-SOUCHI Vol.3) ギャラリータピオ 札幌
(SYASHIN-SOUCHI Vol.4) 4丁目プラザ 札幌
1985年 (SYASHIN-SOUCHI Vol.5) ギャラリータピオ 札幌
2000年 (熱い日の記録) アートスペース201 札幌
2008年 アートクロス クロスホテル札幌 札幌
2010年 「街に風が吹くとき」コンチネンタルギャラリー 札幌
2011年 「街に風が吹くとき」Vol.2 ギャラリー 創 札幌
2019年 (Syashin Souchi「境界」Vol.6) ギャラリーミヤシタ 札幌
2020年 (前澤良彰 個展) presented by Kiyoe Gallery Niseko 杏ダイニング ニセコ / (Something else) 個展 ギャラリー 創 札幌

〈主なグループ展〉

1986年 存在派展('95年まで毎年出品) 札幌
1990年 まなざしの力展(アートスペース201) 札幌
1992年 ノースユニット京都展(ヴォイスギャラリー) 京都
1993年 写真的表層展(ギャラリーT) 札幌
2006~2011年 New Point Vol.4~Vol.9(大同ギャラリー) 札幌
2009年 アートクロス(クロスホテル札幌) 札幌
2010年 100 CREATORS EXHIBITION in SAPPORO2010(ギャラリーレタラ) 札幌
2011年 「記憶の循環」(苫小牧市立樽前小学校) 苫小牧 / New Point Vol.9(大同ギャラリー) 札幌
2012年 500m美術館オープニング記念展後期展(札幌大通地下ギャラリー 500m美術館) 札幌 / メディアアーツ・サマー・フェスティバル2012(インタークロス・クリエイティブ・センター) 札幌
2013年 札幌美術館「アクアライン」(札幌芸術の森美術館) 札幌
2022年 (The Forest) -みえるもの・みえざるもの- Tramnist Gallery / (maezawa's primordial landscape) 2人展 ギャラリー 創 札幌

instagram upm_photo



Pickup ARTIST

さりげない「良さ」を生むデザインと技術。 さまざまな素材をかたちに変えて。

621(ロクニーイチ)は東京都墨田区出身のデザイナー・植木祐介と、札幌市出身のデザイナー・祐川諭、旭川市出身の職人・藤原誠の3名からなるユニットです。家具やインテリアのデザインから制作までを手がけています。2014年6月21日に結成したから「621」。あまり格好良い名前にしすぎるのも嫌だなということで、結成日をユニット名としました。

私たちはもともと北海道東海大学旭川キャンパスの同級生で、学生時代から将来3人で活動したいと考えていました。卒業後は植木と祐川は大学院へ進学、藤原は旭川の家具メーカーに就職。その後、植木は東京の家具メーカーに、祐川は札幌の内装会社に、藤原は横浜のリフォーム会社に勤めるなど、それぞれの場所で経験を積みました。30歳を過ぎ、3人とも独立を意識していたところに旭川で再会し、具体的にユニットを組む話が持ち上がり621を結成。現在も植木は東京で活動することが多く、普段は祐川と藤原の2名が南区にあるアトリエで活動しています。

手がける家具や店舗什器などについて考えているのは、使いやすさだけでなく、使う時や目に入った時に「なんかちょっと良いな」と思ってくたをデザインに盛り込みたいということです。素材には縛られすぎずに、その時々で良いと思うものを柔

軟に使用しています。木だけでなく、金属や少し変わった素材を使うこともあります。例えば、室蘭工業大学内のカフェ「TENTO」のテーブルを制作した際は、通常であれば内装の下地材などに使用されるOSBボードをあえて仕上げに活用しました。学生や教員だけでなく一般の方も利用できるカフェなので、地域に開かれた温かみのある雰囲気に合う素材感だと思います。*

現在アトリエは改装中で、ゆくゆくは皆さんに621の家具をご覧いただけるショールームとして公開したいと考えています。今手掛けている仕事は7/8割が特注いただいた家具の制作なのですが、今後はオリジナルの家具の割合も増やしていきたいです。

オリジナルの家具は作品展に出品することもあります。2022年6月に「北海道の椅子展'21-22」が札幌市中央区のギャラリー創にて開催されました。この作品展は2020年に初めて開催されたもので、札幌の木材で椅子を制作し、未利用材の活用やリサイクルについて思いを巡らすという趣旨でした。展示作品として、跨道橋の撤去工事のため伐採された北海道大学札幌研究林の木々で制作した数組の作家による椅子が並びました。私たちとしても木材業者から買うだけではなく、切らざるを得ない木や地域材を使うという選択肢と改めて向き合うことができ、大変良い機会となりました。この時の展示作品は北海道庁1階ロビーが北海道産木材を使った木質空間としてリニューアルされた際に納めることになり、現在も皆さんに座っていただくことができます。「北海道の椅子展」とはご縁があり、運営にも関わっています。締



※1



写真:古瀬 桂

621(ロクニーイチ)
札幌市南区石山東3丁目7-26
TEL 090-5951-9632 (祐川)
E-mail sukegawa1123@gmail.com
https://621design.com/
Instagram 621_usf

南区とのご縁やつながり。 穏やかに地域と交わる心地良さ。

南区は静かで自然豊かで雰囲気が良いです。私たちは釣りが好きでよく出かけるのですが、定山溪など釣りのポイントへのアクセスも良く便利です。アトリエのご近所さんには高齢の方が多く、気さくに話しかけてくださいます。

南区とのつながりは、英国人の木工作家Steve Zambuni(ステイブ・ザムブーニ)さんに「帰国するから工房を機械ごと譲るよ」とお話をいただいたことからでした。ちょうど621としての活動を始めたばかりのころで、アトリエの場所を探していたので願ったり叶ったりでした。石山のパン屋「京田屋」さんの隣でしたね。それから2/3年はそこをアトリエとして活動を続けていました。少し手狭になってきて場所を移ろうかと相談していた時、ちょうど紙箱や紙物、図面を製作されているHACOKAさん(20ページ参照)からアトリエをシェアしないかとお話をいただいて、現在の場所が拠点となりました。

祐川は2018年から札幌市立大学デザイン学部で非常勤講師を務めており、地域との関わりも増えてきました。南区は元々ゆかりがある場所というわけではないのですが、良いご縁があると感じています。(談)



621 家具・プロダクトのデザイン・制作

ロクニーイチ

デザイナーの植木祐介(うえき ゆうすけ)、祐川諭(すけがわ さとし)、職人の藤原誠(ふじわら まこと)の3人ユニット。札幌で家具・プロダクトを中心にデザインから制作までを行う。オリジナル家具やインテリアデザイナー・建築家からの依頼で特注家具や什器の製作をしている。

2014年 結成。
2019年 621の仕事展/BLAKISTON
2020年 札幌の木、北海道の椅子展/GALLERY創 出品
2022年 札幌の木、北海道の椅子展'21-'22/GALLERY創 出品
2023年 北海道の椅子展@NAGOYA/木の家具40人展2023 出品

〈掲載雑誌〉
AIRDO機内誌・商店建築など



音楽

札幌管楽ゾリステン (さっぽろかんがくぞりすてん)

吹奏楽・アンサンブル・ソロ・指導

吹奏楽部等への指導者派遣、イベント等への参加、コンサートの開催。

- HP: npobrassaid.wixsite.com/website
- メール: SapporoSoli@gmail.com
- Facebook: sap.solisten
- Instagram: soli.sapporo
- X(旧Twitter): solistensap
- YouTube: UCMiHNdi9FE4p6OaK-24slZg



美術・張り子

佐藤 ひかり (さとう ひかり)

- メール: satohikari.art@gmail.com
- Instagram: satohikari.hariko



総合芸術・造形・パフォーマンス

柴田 智之 (しばた ともゆき)

俳優・アーティスト

訪問希望の方はご連絡ください。

- Atelier柴田山
- Tel.090-3893-8998
 - HP: atelier-shibatayama.com
 - メール: atelier.shibatayama@gmail.com
 - Facebook: tomoyuki.shibata
 - Instagram: sibata.tomoyuki
 - YouTube: @atelier2736



総合芸術(ダンス)

菊澤 好紀 (きくざわ よしのり)

- sola-art.retreat
札幌市南区常盤
- HP: sola-art.com
 - Instagram: yoshinori_kikuzawa



音楽(馬頭琴・喉歌奏者)

嵯峨 治彦 (さが はるひこ)

- HP: sagaharuhiko.com
- メール: nodo.office@gmail.com
- Facebook: haruhiko.saga



プロダクトデザイン

笹川 寛司 (ささがわ ひろし)

東海大学 札幌キャンパス 国際文化学部

- メール: h_sasagawa@tokai.ac.jp
- Instagram: hiroshi.sasagawa.77



音楽(ピアノ・指揮)

鎌倉 亮太 (かまくら りょうた)

札幌大谷大学芸術学部音楽学科

- メール: ryotakamakura217@hotmail.com
- メール: ryotakamakura217@gmail.com
- Facebook: ryota.kamakura.58



美術(インスタレーション)

河口 真哉 (かわぐち しんや)

販売・仕事依頼は展示会場で直接、またはメールでご連絡ください。

- HP: shinyakawaguchi.amebaownd.com
- メール: kawaguchi.shinya1999@gmail.com
- Instagram: kawaguchi.shinya1999
- X(旧Twitter): Shinya_K1999



絵画(油彩画)

河口 真由美 (かわぐち まゆみ)

イベント等でライブインテイングも行います。販売・仕事依頼は展示会場で直接、またはメールでご連絡ください。

- メール: blurryeyes.1k2e9i@gmail.com
- Facebook: mayumi299
- Instagram: mofumofu299



工芸

小原 恵 (おばら めぐみ)

- 軟石雑貨制作工房「軟石や」
札幌市南区石山1条2丁目9-22
- Tel.090-9425-0573
 - HP: 212a-a.jimdo.com
 - メール: nansekiya@gmail.com
 - Facebook: nansekiya
 - Instagram: nansekiya



金工

上遠野 いこひ (かとの いこひ)

- メール: ikoi.k6409@gmail.com
- Instagram: ikoikatono



建築

上遠野 克 (かとの くるみ)

- (株)上遠野建築事務所
札幌市南区川沿9条2丁目1-23
- Tel.011-571-5712
 - HP: katonoarchitects.com
 - メール: katono.architects@gmail.com



音楽(声楽(テノール))

岡崎 正治 (おかざき まさじ)

- 映像と音楽の芸術集団「ピッコロバルコ」
札幌市中央区南6条西6丁目第6Gビル2F Buena Vista内
- HP: tenoriamo.net
 - メール: piccolopalco2020@gmail.com
 - メール: pagliacci0214@gmail.com



音楽(ギター)

沖野 光宏 (おきの みつひろ)

ゆうみつ(沖野優子&沖野光宏): 音楽・音楽付き
繪本読み聞かせ(オリジナル曲・オリジナル繪本、他)
やろめろ(沖野光宏&樽石麗子): 音楽(オリジナル曲・傳承曲・昭和歌謡、他)

- JEJELABEL
札幌市東区北丘珠3条2丁目1番18号
- Tel.090-6262-8804
 - HP: yuumitu.jimdoofree.com
 - YouTube: @user-ko6bd8eo5r



音楽(ピアノ)

小野寺 あい (おのでら あい)

ピアニスト、クラシックコンサートの企画・運営

- music in art
- Tel.011-777-0627
 - HP: miamoonlive.com
 - メール: music.in.art.piano@gmail.com
 - Facebook: musicinart
 - Instagram: music_in_art



絵画

相川 みつぐ (あいかわ みつぐ)

壁画制作承っております。その他お仕事のご依頼もお気軽にご相談ください。

- 相川みつぐプロダクション
- HP: aikawamitsugu.com
 - メール: mig329@gmail.com
 - Instagram: geso_portrait
 - Instagram: aikawamitsugu



音楽(ピアノ)

飯田 佳代子 (いいだ かよこ)

演奏のご依頼、または伴奏お探しの方いらっ
しゃいましたら、是非いつでもお声かけていた
だけたら嬉しいです。

- Tel.050-3637-5163
- メール: oursongs10@gmail.com
- YouTube: UCOmADTRWA9VV_5htyqeLPLQ



写真

うねかわ ちさと

猫写真家・フリーカメラマン

道内の猫達を撮影しています。

- メール: anpanman6@jcom.home.ne.jp
- Facebook: chisatouekawacat



詩・文芸

三角 みづ紀 (みすみ みづき)

- HP: misumimizuki.com
- メール: info@misumimizuki.com
- Facebook: misumi.mizuki
- Instagram: misumimizuki
- X (旧Twitter): misumimizuki



音楽(津軽三味線)

忍弥(NIYA) (にや)

- HP: tsugarushamisen-niya.com
- メール: niyani8_312@yahoo.co.jp
- Facebook: niya.sasaki.9
- Instagram: niyani8
- X (旧Twitter): Niyani8
- YouTube: nin-records310



彫刻・絵画

千葉 有造 (ちば ゆうぞう)

- 札幌市南区真駒内南町1丁目7-27
- Tel.090-5229-8492
- HP: yuzochiba.jp
- メール: info@yuzochiba.jp



音楽(声楽(ソプラノ))

陣内 麻友美 (じんのうち まゆみ)

- 札幌市南区藤野2条2丁目2-5
- Tel.090-1309-5893
- HP: jin-kikaku.com
- メール: jinkikaku2020@gmail.com
- YouTube: Jin企画



舞台芸術(演劇)

モケレンベンベ・プロジェクト

演劇を中心とした表現活動

野外や屋内での出前公演が可能です。

- 虹のしっぽ
札幌市南区簾舞4条3-4-25
- Tel.011-206-0804
 - HP: mokelebembembe.net
 - メール: mokele@rr.ij4u.or.jp
 - Facebook: mokelebembembeProject
 - YouTube: @mokelemokele



音楽(トンコリ)・トンコリ製作・木彫

福本 昌二 (ふくもと しょうじ)

- メール: tonkorikur.shoji@au.com



木版画

富田 美穂 (とみた みほ)

- HP: tomitamiho.com
- Instagram: tomimiho511
- X (旧Twitter): guuteimoku



音楽(ピアノ)

田中 K助 (たなか けいすけ)

ピアニスト・作編曲家・プロデューサー

- Ksuke Tanaka Music Class
- HP: k-suketanaka.theblog.me
 - メール: tanaka.knights@gmail.com
 - Facebook: kduke.tanaka
 - Instagram: ksuketanaka
 - X (旧Twitter): KsukeTanaka1



音楽(ピアノ)

前田 朋子 (まえだ ともこ)

- アンサンブルグループ奏楽(そら)
札幌市中央区南14条西5丁目1-3-201
- Tel.070-5611-9464
 - HP: sora-music-hokkaido.com
 - メール: sora-i-2008@mail.goo.ne.jp
 - Facebook: nposora2008
 - YouTube: UCY9EgE9n6asX3NddMUUSk-Q



家具デザイン

中尾 紀行 (なかお のりゆき)

- 東海大学国際文化学部
札幌市南区南沢5条1丁目1-1
- Tel.011-571-5111
 - メール: nakao@tspirit.tokai-u.jp



音楽(民族笛)

樽石 麗子 (たるいし れいこ)

音楽(オリジナル曲・傳承曲・昭和歌謡・他)

- メール: poko_poko.fl15@icloud.com
- Facebook: Reiko Taruishi
- Instagram: reiko_taruishi
- YouTube: @user-ko6bd8eo5r

羊毛フェルト／2022年17ページ

すぎた まり

- メール:kokoro5524@hotmail.co.jp
- Instagram:mari.sugita

建築／2023年6、7ページ

鈴木 理

- (すずき まこと)
- HP:suzuki-ma.com
- メール:suzuki@suzuki-ma.com

音楽(ピアノ)／2022年17ページ

高垣 美加

- (たかがき みか)
- HP:takagakipiano.net
- メール:mikapf915@gmail.com

音楽(ピアノ)／2023年18ページ

田中 K助

- (たなか けいすけ)
- HP:k-suketanaka.theblog.me
- メール:tanaka.knights@gmail.com

音楽(民族笛)／2023年18ページ

樽石 麗子

- (たるいし れいこ)
- メール:poko_poko.fl15@icloud.com
- YouTube:@user-ko6bd8eo5r

ダンス／2022年17ページ

千田 雅子

- (ちだ まさこ)
- HP:sapporo-buyoukai.com
- メール:buyoukai@violin.ocn.ne.jp

彫刻・絵画／2023年18ページ

千葉 有造

- (ちば ゆうぞう)
- HP:yuzochiba.jp
- メール:info@yuzochiba.jp

工芸／2022年18ページ

陶房天藍

- (とうぼうてんらん)
- HP:ten-ran.com
- メール:lapazgoma@hotmail.com

木版画／2023年18ページ

富田 美穂

- (とみた みほ)
- HP:tomitamih.com
- Instagram:tomimih511

音楽(歌手(ジャズなど))／2022年18ページ

NAOMI

- (ナオミ)
- HP:naomi-sings.com
- メール:betty.sings2014@gmail.com

家具デザイン／2023年18ページ

中尾 紀行

- (なかお のりゆき)
- メール:nakao@tspirit.tokai-u.jp

美術・陶芸／2022年18ページ

中村 裕

- (なかむら ひろし)
- HP:kusanogama.com
- メール:hiroshi_n2535@yahoo.co.jp

写真・ビデオ撮影／2023年8、9ページ

Neil Hartmann

- (ニール ハートマン)
- メール:neilhartmann@gmail.com
- Instagram:@neilhartmann

総合芸術(ダンス)／2023年17ページ

菊澤 好紀

- (きくざわ よしのり)
- HP:sola-art.com
- Instagram:yoshinori_kikuzawa

映像作家:haptics代表／2022年4、5ページ

北川 陽稔

- (きたがわ あきよし)
- HP:akiyoshikitagawa.com

造園美術家／2022年17ページ

小助川 裕康

- (こすけがわ ひろやす)
- HP:hiroyasukosukegawa.jp

音楽(ヴァイオリン)／2022年6、7ページ

小林 佳奈

- (こばやし かな)
- メール:kanana0301violin@gmail.com

映像・絵画・絵本／2023年4、5ページ

小林 大賀

- (こばやし たいが)
- HP:taigakobayashi.com
- メール:taiga.kob@gmail.com

陶芸・造形・音楽／2022年17ページ

坂田 眞理子

- (さかた まりこ)
- メール:marisan219@au.com
- Instagram:marisan0219

音楽(馬頭琴・喉歌奏者)／2023年17ページ

嵯峨 治彦

- (さが はるひこ)
- HP:sagaharuhiko.com
- メール:nodo.office@gmail.com

音楽(トランペット)／2022年17ページ

櫻井 匡

- (さくらい ただし)
- HP:sapporosoli.wixsite.com/home
- メール:trumpet.sakurai.1016@gmail.com

プロダクトデザイン／2023年17ページ

笹川 寛司

- (ささがわ ひろし)
- メール:h_sasagawa@tokai.ac.jp
- Instagram:hiroshi.sasagawa.77

音楽／2023年17ページ

札幌管楽ゾリステン

- (さっぽろかんがくぞりすてん)
- HP:npobrassaid.wixsite.com/website
- メール:SapporoSoli@gmail.com

美術・張り子／2023年17ページ

佐藤 ひかり

- (さとう ひかり)
- メール:satohikari.art@gmail.com
- Instagram:satohikari.hariko

総合芸術・造形・パフォーマンス／2023年17ページ

柴田 智之

- (しばた ともゆき)
- HP:atelier-shibatayama.com
- メール:atelier.shibatayama@gmail.com

音楽(声楽(ソプラノ))／2023年18ページ

陣内 麻友美

- (じんのうち まゆみ)
- HP:jin-kikaku.com
- メール:jinikikaku2020@gmail.com

音楽(ギター)／2023年16ページ

沖野 光宏

- (おきの みつひろ)
- HP:yuumitu.jimdofree.com
- YouTube:@user-ko6bd8eo5r

音楽(ピアノ)／2023年16ページ

小野寺 あい

- (おのでら あい)
- HP:miamoonlive.com
- メール:music.in.art.piano@gmail.com

工芸／2023年16ページ

小原 恵

- (おばら めぐみ)
- HP:212a-a.jimdo.com
- メール:nansekiya@gmail.com

テキスタイル・絵画／2023年2、3ページ

梶原 加奈子

- (かじはら かなこ)
- HP:kajihara-design.com
- メール:contact@kajihara-design.com

金工／2023年16ページ

上遠野 いこひ

- (かとの いこい)
- メール:ikoi.k6409@gmail.com
- Instagram:ikoikatono

建築／2023年16ページ

上遠野 克

- (かとの くる)
- HP:katonoarchitects.com
- メール:katono.architects@gmail.com

音楽(ピアノ・指揮)／2023年17ページ

鎌倉 亮太

- (かまくら りょうた)
- メール:ryotakamakura217@hotmail.com
- Facebook:ryota.kamakura.58

工芸／2022年16ページ

神尾 優佳

- (かみお ゆか)
- メール:suhaku.pottery@gmail.com
- Instagram:kamio_yuka

金工／2022年17ページ

鴨下 玄

- (かもした げん)
- HP:studiokamokamo.wixsite.com/home
- メール:studiokamokamo@gmail.com

金工／2022年17ページ

鴨下 蓉子

- (かもした ようこ)
- HP:studiokamokamo.wixsite.com/home
- メール:studiokamokamo@gmail.com

美術(インスタレーション)／2023年17ページ

河口 真哉

- (かわぐち しんや)
- HP:shinyakawaguchi.amebaownd.com
- メール:kawaguchi.shinya1999@gmail.com

陶芸／2022年17ページ

川口 英高・宙工房

- (かわぐち ひでたか・そらこうぼう)
- 2022年没。宙工房などで作品の展示・販売を継続。
- メール:m-kawaguchi@sorakoubou.jp

絵画(油彩画)／2023年17ページ

河口 真由美

- (かわぐち まゆみ)
- メール:blurryeyes.1k2e9i@gmail.com
- Facebook:mayumi299

絵画／2023年16ページ

相川 みつぐ

- (あいかわ みつぐ)
- HP:aikawamitsugu.com
- Instagram:aikawamitsugu

美術・工芸・デザイン／2022年16ページ

青池 茉由子

- (あおいけ まゆこ)
- HP:bluepond.thebase.in
- Instagram:mayuko_aoike / bluepond_jp

美術・彫刻／2022年16ページ

浅井 憲一

- (あさい けんいち)
- HP:az-tetu.com
- Facebook:morinokobo

書道／2022年16ページ

阿部 和加子

- (あべ わかこ)
- メール:wakakowakaba@yahoo.co.jp

音楽(ピアノ)／2023年16ページ

飯田 佳代子

- (いいた かよこ)
- メール:oursongs10@gmail.com
- YouTube:UCOmADTRWA9VV_5htyqeLPLQ

美術・デザイン／2022年16ページ

伊賀 信

- (いが まこと)
- HP:gaal.jimdosite.com
- メール:gaaligmkt@yahoo.co.jp

彫刻／2022年16ページ

伊藤 明彦

- (いとう あきひこ)
- メール:a.itoh.jp@gmail.com

彫刻／2022年16ページ

伊藤 幸子

- (いとう さちこ)
- メール:sachiko_pom@yahoo.co.jp

音楽(オーボエ)／2022年16ページ

岩崎 弘昌

- (いわさき ひろまさ)
- HP:sora-music-hokkaido.com
- メール:sora-i-2008@mail.goo.ne.jp

工芸／2022年16ページ

岩本 裕規・由希

- (いわもと ひろのり・ゆき)
- HP:nico-craft.com
- メール:25@nico-craft.com

写真／2023年16ページ

うえかわ ちさと

- (うえかわ ちさと)
- メール:anpanman6@jcom.home.ne.jp
- Facebook:chisatouekawacat

硝子作家／2022年2、3ページ

上杉 高雅

- (うえすぎ たかまさ)
- HP:studio-p.jp

音楽(声楽(テノール))／2023年16ページ

岡崎 正治

- (おかざき まさじ)
- HP:tenoriamo.net
- メール:piccolopalco2020@gmail.com

南区アートシーズン 夏

小林佳奈・三角みづ紀
ヴァイオリンの声と詩の演奏会



南区アートシーズン 秋

フォークロアの音と形



詩・文芸／2023年19ページ

三角 みづ紀 (みすみ みづき)

●HP:misumimizuki.com
●メール:info@misumimizuki.com

切り絵・イラスト／2022年19ページ

三苦 麻由子 (みとま まゆこ)

●メール:m.mitoma3@gmail.com
●Instagram:myk.mtm

舞台芸術(演劇)／2023年19ページ

モケレンベンベ・プロジェクト

●HP:mokelebembe.net
●メール:mokele@rr.ij4u.or.jp

美術／2022年19ページ

八子 直子 (やこ なおこ)

●メール:ayumana@icloud.com
●Facebook:やこなおこ

デザイナー・木工作家／2022年10、11ページ

山口 大樹 (やまぐち たいじゅ)

●HP:d-shot.net/kitokai

空間インスタレーション・環境芸術／2022年19ページ

山田 良 (やまだ りょう)

●HP:ryoyamada.com
●メール:r.yamada@scu.ac.jp

版画・木彫作家／2022年12、13ページ

結城 幸司 (ゆうき こうじ)

●HP:hakkenzan-gallery.com/yuki

墨絵アニメーション作家／2022年14、15ページ

横須賀 令子 (よこすか れいこ)

●HP:reikoyokosuka.blogspot.com

札幌軟石装身具・雑貨／2022年19ページ

Liaison (リエゾン)

●HP:liaison-hokkaido.jp
●メール:info-info@liaison-hokkaido.jp

家具・プロダクトのデザイン・制作／2023年14、15ページ

621 (ロクニーイチ)

●HP:621design.com
●メール:sukegawa1123@gmail.com

美術／2022年18ページ

西田 陽二 (にしだ ようじ)

●メール:yusaida.nishida.youji@hotmail.co.jp
●Facebook:yusaida.nishida.youji

音楽(津軽三味線)／2023年18ページ

忍弥(NIYA) (にや)

●HP:tsugarushamisen-niya.com
●メール:niyani8_312@yahoo.co.jp

工芸／2022年18ページ

HACOYA (ハコヤ)

●メール:hacoya.hokkaido@gmail.com
●Instagram:paper_hacoya

グラフィックデザイン・パフォーマー／2022年18ページ

長谷川 史織 (はせがわ しおり)

●HP:birth-farm.jimdofree.com
●メール:bm9.apple7@gmail.com

美術・写真・工芸／2022年18ページ

八戸 耀生 (はちのへ あきお)

●HP:pshop.co.jp
●メール:akio.hachinohe@gmail.com

美術／2023年10、11ページ

深澤 孝史 (ふかさわ たかふみ)

●HP:fukasawatakafumi.net
●Facebook:深澤孝史

音楽(トンコリ)・トンコリ製作・木彫／2023年18ページ

福本 昌二 (ふくもと しょうじ)

●メール:tonkorikur.shoji@au.com

メディア芸術／2022年18ページ

藤木 淳 (ふじき じゅん)

●HP:fujimori.website/junfujiki
●メール:fujikijun@gmail.com

写真／2022年18ページ

藤倉 翼 (ふじくら つばさ)

●HP:tsubasafujikura.com
●メール:tsubasa@airbags.jp

彫刻／2022年8、9ページ

藤原 千也 (ふじわら かずや)

●HP:kazuyafujiwara.com
●メール:kzya.fujiwara@gmail.com

写真／2023年12、13ページ

前澤 良彰 (まえざわ よしあき)

●Instagram:upm_photo

音楽(ピアノ)／2023年18ページ

前田 朋子 (まえだ ともこ)

●HP:sora-music-hokkaido.com
●メール:sora-i-2008@mail.goo.ne.jp

木工(寄木彫刻)／2022年19ページ

三島 俊樹 (みしま としき)

●HP:mishima-mokko.jp
●メール:mishima@mishima-mokko.jp

ミナミナク・アートプロジェクトとは

ミナミナクとは、アイヌ語で「笑顔」(ミナミナ)と「私」(ク)を意味する造語です。南区在住のアーティストでアイヌアートプロジェクト代表の結城幸司さんによって提案され、昨年から南区のアートプロジェクトのキャッチコピーとして使われました。

本プロジェクトは、2020年に「南区＝アートのまち」プロジェクトとして発足、今年から「ミナミナク・アートプロジェクト」と名前を変更し、活動しています。

南区は豊かな自然に恵まれ、札幌芸術の森、石山緑地などの多くの芸術・文化に関わる施設があり、その環境に惹かれて多くのアーティストが住む「芸術区」ともいえる区です。

いろいろなジャンルのアーティストたちが、切磋琢磨しながら制作活動に励んでいます。

2022年には区制50周年を記念して、「南区芸術祭2022～ミンナミニク ミナミナク～」を開催し、多くの方にアートを身近に感じていただくことができました。最終日には石山緑地での音楽家たちの演奏に続き、かがり火がたかれる中でのボレロの演奏とダンスが披露され、大きな感動を呼びました。

この芸術祭の活動を継承するため、2023年からは「南区アートシーズン」として、四季折々の芸術イベントを開催してまいります。

実行委員長



國松 明日香 (くにまつ あすか)

彫刻家・星槎道都大学客員教授

札幌駅前通りや札幌ドームなど、札幌市内の公共施設に多くの作品が展示されている。北海道を代表する彫刻家。

主な受賞経歴

- 1973 第1回C.C.A.C. ワールドプリントコンペティションにて最優秀賞受賞(サンフランシスコ)
- 1987 イメージ・響－北海道の美術'87にてグランプリ受賞(北海道立近代美術館)
- 1989 はまなす国体シンボルモニュメント「捷」にて第4回本郷新賞受賞
- 1993 札幌市民文化奨励賞受賞
- 2003 あいの里教育大駅前の彫刻「MUSE」にて「日本の鉄道－パブリックアート大賞」優秀賞受賞
- 2009 紺綬褒章受章
- 2016 札幌芸術賞受賞
- 2023 北海道文化賞受賞

実行委員(五十音順)



坂本 真惟 (さかもと まい)

札幌芸術の森美術館学芸員



芝木 謙子 (しばき のりこ)

(公財)パシフィック・ミュージック・フェスティバル組織委員会



須之内 元洋 (すのうち もとひろ)

札幌市立大学 デザイン学部講師

生活を豊かにするメディア・アーツについて、研究・デザイン・プロジェクトを実践している。



早川 渉 (はやかわ わたる)

東海大学 国際文化学部講師

映像制作者。カンヌ国際映画祭をはじめ様々な国際映画祭に参加。中高生向けの映像ワークショップも開催。



細川 清映 (ほそかわ きよえ)

KIYOE GALLERY NISEKO代表

ニセコと札幌でコミッションワークを中心に活動し、展覧会の企画運営なども手掛ける。



吉村 卓也 (よしむら たくや)

株式会社メディアグレス代表

編集者、フォトグラファー、ビデオグラファー、ライター、ドキュメンタリー映像作品も製作。南区を舞台にいろいろな地域活動も行う。

副委員長

奥村 俊文

札幌市南区長

実行委員

西村 純一郎

札幌市南区市民部長

発行元:ミナミナク・アートプロジェクト実行委員会
発行:2023年11月

表紙写真:南区アーティスト ヴァイオリン奏者・小林佳奈(撮影・吉村卓也)

発行元: ミナミナク・アートプロジェクト実行委員会

事務局: 札幌市南区、株式会社サンコー(受託事業者)

協力: 札幌市立大学、東海大学札幌キャンパス、札幌芸術の森、PMF組織委員会

お問い合わせ: ミナミナク・アートプロジェクト実行委員会事務局(南区地域振興課)

TEL.011-582-4723

E-mail: minami.machitan@city.sapporo.jp

営業時間: 平日8:45~17:15



※掲載情報は2023年9月取材時点のものです。